

本校は児童数396名、学級数13学級の中規模の小学校です。周辺は田畑・山野が広がり大井川鐵道の沿線にあるため授業中にはSLの蒸気音が聞こえてきます。また、近年は新東名ICが開通し地区が開発され、新しい動きがある地区でもあります。

本校の教育目標は「心豊かに進んで学び共に伸びる子」です。児童は素直で明るく、言われたことは頑張っている子とします。反面、主体性や人に関わる力が弱い面があり、自分の考えを表現することが苦手な子も見受けられます。また、危機管理意識が低く、安全に気をつけて過ごそうとする意識が低いことも課題です。

います。目的は子どもたちが日々安全に健やかに、自分を思いやって生活できるようにすることです。毎月のテーマは児童や教師から時期に見合ったもの、実態に合ったものとして、どんなことに必要性を感じているかを聴き、設定しています。



静岡市立清水飯田中学校は、静岡市清水区にある全校生徒495名の学校です。数年前に建て直された校舎はバリアフリーにもなっており、明るく清潔な環境で生徒が生活しています。保健室も広く、トイレやシャワーが併設されているため、様々な健康課題をもった生徒に対応しやすくなっています。

本校の学校教育目標は「強い意志と豊かな心を持ち、自ら学ぶ生徒の育成」重点目標は「心をつなぐ教育」「生徒と教師、生徒と生徒、生徒と地域、教師と教師」です。学校が生徒の居場所となるよう、毎月1回アンケートを実施し、

題です。そこで重点目標「気づき 考え 行動しよう」のもと、私が所属する安全・健康づくり部では「安全に気をつけて生活できる子の育成」に力を入れています。

主な活動として毎月10日を「いのちの日」とし、朝の時間に学級指導を行っている。



（共に伸びる）。15分という短い時間ですが、全校が同じテーマで話し合い、安全への意識を高めることができる大切な時間となっています。

教職員の危機管理研修にも力を入れています。本校ではシミュレーション研修

す。（気づき）また、必要性のある資料の充実を図ったうえで課題を提示することで進んで考え、共に考えあう場としています。（考える）そして学んだことを実生活に生かし（行動する）、安全への意識を継続させるため、日常的に相互評価や認め合う場を設けています。

島田市立五和小学校

養護教諭 陶山真由子

ズかつ確実な救急処置実施のため、救急活動を記したアクションカードを各教室に配置しました。「コール救急」については児童にも毎年4月のいのちの日に指導してあるため、校内放送があればその場に合った行動が取れるようになりまし

せると7割以上でした。その中で1日の携帯の利用時間では3時間以上利用している生徒が約3割いました。

また、先述のアンケートで睡眠時間や朝食欠食の生徒もいることがわかりました。それらの実態から、保健目標「一人一人が自分の

心と体に関心をもち、生活習慣を身につけて、健康管理ができる子」にむけて、今年度は「ネット・スマホの使い方から心身の健康を考えよう」というテーマで学校保健委員会を開催する予定です。生活の一部となっている、もしくは将来生活の一部となっていくスマホ

静岡市立清水飯田中学校

養護教諭 太田 恵

いていくうちにインターネットやスマートフォンにおけるコミュニケーションの問題が潜んでいることがわかりました。

保健委員会の活動の中で実態調査をしたところ、自分のスマホを持っている生徒は約6割にのぼり、家族と共有しているものを合わ



た。

これらは、いのちの日と教職員の危機管理研修は前任者から継続して行っているものであり、多くの先生方が関わってくださり活動が継続しています。

これからは「先生方と共に」「子どもたちのために」という視点で健康教育を推進していきたいと思っています。

を切り口に、自己管理の大切さや人との関係を振り返る機会にできればと思っています。

保健室を利用する生徒は、全校生徒のほんの一部ですが、利用する生徒の声に耳を傾けて集団・個人それぞれの課題をサポートしていきたいと考えています。



げんきな事業所

いであ株式会社環境創造研究所

（焼津市利右衛門一三三四一五）



会社全景

年5月、静岡県大井川町（現焼津市）に開設された。当研究所では環境問題の解決、人と自然が調和した安全・安心で快適な環境の創造において、当研究所の最新施設・設備とそれらを活用した「生態系・生物多様性」「環境化学分析」および「環境リスク」の各分野における信頼性の高い技術力が大きく貢献するものと確信しています。

【会社・事業所紹介】いであ株式会社は、社会基盤整備（河川・海岸、港湾、道路・都市・地域計画、橋梁）のコンサルタント事業、環境（環境影響評価・モニタリング、環境計画・管理、自然再生・保全、環境リスクの評価）のコンサルタント事業を基軸に、減災、快適性さらには生命ソリューション等の諸分野について、企画から調査、分析、予測評価、設計、対策、施工管理までの業務を一貫して実施する総合コンサルタントです。



健康セミナー

当社の生物・化学分野の調査研究に関わる技術開発の中核を担う環境創造研究所は、1992

全社的には、法制化されたストレスチェックの実施を始め、通常の定期健康診断の他にも、有機溶剤等健康診断、特定化学物質健康診断など業務内容に



バレーボール

じた特殊健康診断を実施し、職員の心身の健康管理に努めています。一方、労働時間管理については、業界団体による「受発注者協働によるワークライフバランスの改善に向けての施策推進」の一環として「二斉ノ残業デー」に参加し、働き方を見直す機会とワークライフバランスに関する社内気運の醸成を図っています。

ノ残業デーを利用したバレーボールなどのスポーツ活動も盛んで、社内の事業所対抗バレーボール大会などの企画を通じて、運動不足の解消とともに事業所間の親睦も深めています。